

6. 教員の業績

6.1 書籍

6.1.1 書籍 (著書)

- 浅見洋 (単著): 西田幾多郎の姪 高橋ふみの生涯と思想 おふみさんに続け! 女性哲学者のフロンティア. ポラーノ出版, 東京, 2017. 3
- 石垣和子 (分担執筆): 日本の在宅看護の成立, 日本の在宅看護をめぐる社会文化的背景,在宅看護の法的基盤とシステム,在宅看護の姿勢・考え方と看護家庭の展開. 石垣和子, 上野まり (編集): 在宅看護論 改訂第2版. 南江堂, 東京, 2017. 1
- 大木秀一 (単著): 基本からわかる 看護統計学入門 第2版. 医歯薬出版社, 東京, 2016. 9
- Ooki S. (分担執筆): [Chapter 8] Child Maltreatment Associated with Multiple Births in Japan. Angelo P. Giardino (eds.): Child Maltreatment: Emerging Issues in Practice, Care and Prevention. Nova Science Publishers, NY, 2016. 5
- 大木秀一 (分担執筆): ライフコースアプローチ ー人生を通して健康を考える. 花田信弘, 武内博朗 (編著): 歯科発 ヘルシーライフプロモーションII. デンタルダイヤモンド社, 東京, 2017. 3
- 垣花渉 (分担翻訳): 第1章 運動の記述、第4章 走動作, 跳躍動作, 投動作. 鈴木秀次 (総監訳): ニューロメカニクス. 西村書店, 東京, 2017. 2
- 加藤穰 (単著): English Fundamentals for Nursing Students (Third Edition). 三恵社, 愛知, 2017. 3
- 金子紀子 (分担執筆): 生活支援・介護予防. 石垣和子, 上野まり (編集): 在宅看護論 改訂第2版. 南江堂, 東京, 2017. 1
- 川島和代 (分担執筆): 基礎知識編, 実践編. 介護職員関係要請研修テキスト作成委員会編集 前沢政次: 医療的ケア 介護職員による喀痰吸引, 経管栄養 第2版3刷. 一般社団法人 長寿社会開発センター, 東京, 2016. 6
- 木森佳子 (分担執筆): 採血に必要な肘窩の解剖学を学ぼう. Medical Technology. 医歯薬出版株式会社, 東京, 2016. 10
- 小林宏光 (分担執筆): 3章1.1. 心拍変動による自律神経活動計測, 14 個人差研究の歴史. 宮崎良文 (編著): 自然セラピーの科学. 朝倉書店, 東京,
- 曾根志穂 (分担執筆): 第2章2節 高齢化の進行と高齢者のとらえ方. 石垣和子, 上野まり (編集): 在宅看護論 改訂第2版. 南江堂, 東京, 2017. 1
- 多久和典子, 多久和陽 (共著): なるほどなっとく 解剖生理学. 南山堂, 東京, 2017. 4
- 徳田真由美 (分担執筆): リハビリテーション専門職との連携, 終末期の療養者への在宅看護, 移動の援助. 石垣和子, 上野まり (編集): 看護学テキストNiCE 在宅看護論 改訂第2版. 南江堂, 東京, 2017. 1
- 中道淳子 (分担執筆): 第7章E1-c 睡眠障害を起こす認知症高齢者の看護, 第7章G1介護保険制度におけるサービス, 第7章G4 次世代の認知症サポーターの育成. 水谷信子 (監修) 高山成子 (編集): 最新老年看護学 第3版 2017年度版. 日本看護協会出版会, 東京, 2016. 11

- 林一美（分担執筆）：“現場の声”を参考にしよりよい“在宅看護”実習をめざす。川村佐和子他編集：訪問看護師・教員・学生全てが成長できる在宅看護学実習。日本看護協会出版会，東京，2017.3
- 林静子（分担執筆）：第4章 活動・休息援助技術，第5章 苦痛の緩和・安楽確保の技術。任和子（著者代表）：系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護学 [3] 基礎看護技術 II。医学書院，東京，2017.1
- 松原勇（単著）：保健統計学の研究の事例。自費出版，石川，2016.10
- 丸岡直子（分担執筆）：退院支援のあり方と看護職どうしの連携。石垣和子，上野まり（編集）：在宅看護論 改訂第2版。南江堂，東京，2017.1

6.2 学術論文

6.2.1 査読有

- 浅見洋：田辺元における死者と生者の実存協同について。比較思想研究，43，9-14，2017.3
- 浅見洋：寸心・大拙の思想を育んだ北陸宗教風土。北陸宗教文化，30，2017.3
- 石垣和子，金子紀子，大湾明美，曾根志穂，塚田久恵，宮崎美砂子，山本春江，織田初江，阿部智恵子，川島和代，浅見洋，*角地孝洋：半島地域における保健師活動の特徴。石川看護雑誌，14，71-83，2017.3
- Tsujimura M.，Ishigaki K.，Yamamoto-Mitani N.，Fujita J. et.al：Cultural characteristics of nursing practice in Japan. International Journal of Nursing Practice，22(Suppl. 1)，56-64，2016.4
- 磯光江，森田聖子，久米真代，高山成子：血液透析を受ける認知症高齢者に対する透析看護認定看護師の困難と工夫。日本腎不全看護学会誌，18(2)，92-100，2016.11
- 磯光江，*城戸口雅子，*小泉花奈，*河口祐介，*藤沢愛里，森田聖子，中道淳子：笑いヨガを構成する感覚刺激が脳血流に及ぼす影響—酸素化ヘモグロビンの変化値での検討—。石川看護雑誌，14，135-140，2017.3
- Hayashi-Miyamoto M.，Murakami T.，Minami-Fukuda F.，Tsuchiaka S.，Kishimoto M.，Sano K.，Naoi Y.，Asano K.，Ichimaru T.，Haga K.，Omatsu T.，Katayama Y.，Oba M.，Aoki H.，Shirai J.，Ishida M.，Katayama K.，Mizutani T.，Nagai M.：Diversity in VP3，NSP3，and NSP4 of rotavirus B detected from Japanese cattle. Infection，Genetics and Evolution，49，97-103，2017
- 今井美和，吉田和枝，塚田久恵，*善野由希栄，*中村瑠乃，*水野珠里：看護系女子大学生が実施した女子高校生への子宮頸がん予防啓発活動の効果。石川看護雑誌，14，59-69，2017.3
- 酒井伸隆，南貴博，松井諭，大江真吾，谷本千恵：精神科男性看護師のワークライフバランスと支援ニーズの実態 医療介護職の妻を持つ子育て世代へのインタビューより。日本看護学会論文集：看護管理，46，270-273，2016.4
- 大木秀一，彦聖美：日本における多胎育児支援の歴史的変遷と今日的課題。石川看護雑誌，14，1-12，2017.3
- 彦聖美，宮下陽江，中村悦子，鈴木祐恵，新田大貴，川西早苗，大木秀一：能登地域における家族介護者と支援者の当事者グループ活動の実態及び介護者支援のニーズ —男性介護者・

- 家族介護者サポートネットワークシステム構築に向けた取り組みから－. 石川看護雑誌, 14, 85-93, 2017.3
- Yokoyama Y., Jelenkovic A., Sund R., Sung J., Hopper JL., Ooki S., Heikkilä K., Aaltonen S., Tarnoki AD., Tarnoki DL., Willemsen G., Bartels M., van Beijsterveldt TC., Saudino KJ., Cutler TL., Nelson TL., Whitfield KE., Wardle J., Llewellyn CH., Fisher A., He M., Ding X., Bjerregaard-Andersen M., Beck-Nielsen H., Sodemann M., Song YM., Yang S., Lee K., Jeong HU., Knafo-Noam A., Mankuta D., Abramson L., Burt SA., Klump KL., Ordoñana JR., Sánchez-Romera JF., Colodro-Conde L., Harris JR., Brandt I., Nilsen TS., Craig JM., Saffery R., Ji F., Ning F., Pang Z., Dubois L., Boivin M., Brendgen M., Dionne G., Vitaro F., Martin NG., Medland SE., Montgomery GW., Magnusson PK., Pedersen NL., Aslan AK., Tynelius P., Haworth CM., Plomin R., Rebato E., Rose RJ., Goldberg JH., Rasmussen F., Hur YM., Sørensen TI., Boomsma DI., Kaprio J., Silventoinen K.: Twin's birth-order differences in height and body mass index from birth to old age: a pooled study of 26 twin cohorts participating in the CODATwins project. *Twin Research and Human Genetics*, 19(2), 112-124, 2016.4
- 大西陽子, 村井嘉子: クリティカルケア領域における人工呼吸器装着患者の鎮静深度と体験の関連性－2006～2016年海外文献による検討－. 石川看護雑誌, 14, 95-102, 2017.3
- Kato, Y.: Ethical, legal and social implications (ELSI) of the emerging use of communication robots in care settings (Scientific contribution). *Journal of Philosophy and Ethics in Health Care and Medicine*, 10, 3-12, 2016.12
- 金子紀子, 石垣和子: 幼児を育てる母親の育児マスターリーに影響する要因の検討－母親の近所とのつながりに着目して－. 石川看護雑誌, 14, 23-34, 2017.3
- *小田沙矢香, 川島和代: 急性期一般病棟における看護師の認知症高齢者への共感に関連する要因. *日本看護研究会雑誌*, 39(1), 33-42, 2016
- 北岡和代, 増田真也, 佐々木恵, 長田恭子, 森岡広美, 川村みどり, 中本明世, 川口めぐみ, 坂上章, 竹澤翔: 『日本版Areas of Worklife Survey (AWS)-2011年版: 個人と職場環境6つのミスマッチ診断』の妥当性について. *看護実践学会誌*, 29(1), 19-25, 2016.9
- Kimori K., Junko S.: Investigation of vasculature characteristics to improve venepuncture techniques in hospitalized elderly patients. *International Journal of Nursing Practice*, 22(3), 300-306, 2016.5
- *笠井恭子, 小林宏光, 川島和代: 要介護高齢者の睡眠状態と睡眠の季節差; 北陸地方の特別養護老人ホームにおける長期追跡調査から. *日本老年看護学会誌*, 21(1), 19-27, 2016.7
- *笠井恭子, 小林宏光, 川島和代: 特別養護老人ホーム入居者の夜間の排泄ケアと睡眠状態との関連. *日本老年看護学会誌*, 22(1), 51-58, 2017.1
- 曾根志穂, 武山雅志, 金谷雅代, 林静子, 石垣和子: 東日本大震災被災地における公立看護系大学の学生災害ボランティア活動の実態と課題－今後の学生災害ボランティア活動とその支援の考察－. 石川看護雑誌, 14, 127-134, 2017.3
- Yayama S., Tanimoto C., Suto S., Matoba K., Inoue M., Endo Y., Yamakawa M., Makimoto K.: Analysis of inedible substance ingestion at a Japanese psychiatric hospital. *Psychogeriatrics*, doi:10.1111/psyg.12237, 2017.1

*松井久美, *上田桃子, *高本奈瑠美, 田村幸恵, 川島和代: 認知症高齢者にメモリーブックを活用したケアの効果. 石川看護雑誌, 14, 103-110, 2017.3

寺井梨恵子, 丸岡直子, 林静子: 看護場面における視線解析を用いた研究の動向と今後の課題. 石川看護雑誌, 14, 13-22, 2017.3

寺井梨恵子, 丸岡直子, 林静子, 小林宏光: 転倒リスク場面観察時における新人看護師と熟練看護師の眼球運動の特徴. 看護人間工学研究誌, 16, 55-61, 2017.3

徳田真由美, 辻村真由子, 石垣和子: 沖縄に暮らす高齢者の排泄に関する意識調査. 石川看護雑誌, 14, 121-126, 2017.3

Hasegawa N., Mochizuki M., Kato M., Yamada T., Shimizu N., Torii A.: Serum 1,25-hydroxyvitamin D: a useful index of cognitive and physical functional impairment in healthy older adults in Japan: a pilot study. Health, 8, 1679-1686, 2016.12

時山麻美, 牧野智恵: ピアサポートを受けたがん患者の体験. 石川看護雑誌, 14, 35-45, 2017.3

松本友梨子, 牧野智恵: 乳がん患者とその子どもへの支援プログラムの検討—親子への支援の試みを手がかりに—. 石川看護雑誌, 14, 47-58, 2017.3

*簀下佳子, 牧野智恵: 北陸3県の一般病院における抗がん剤曝露防止支援の実態調査. 石川看護雑誌, 14, 111-120, 2017.3

Yoneda M., Shimada K.: Validity on tentative design of a regional cooperation system for post-discharge perinatal grief care by the Delphi method(博士論文). Journal of the Tsuruma Health Science Society, Kanazawa University, 40(1), 21-33, 2016.9

6.2.2 査読無

浅見洋: 日本人における死生観の変容とエンド・オブ・ライフケア. 看護技術, 62(12), 14-17, 2016.10

川島和代, *橋本智江: 介護と看護のより良い連携に向けた教育デザイン. 地域ケアリング, 19(2), 82-85, 2017.2

6.3 その他の原稿

浅見洋: 回顧と抱負—哲学館長に就任して—(エッセイ). 西田哲学会会報, 14, 2016.11.30

浅見洋: 随想断片集—吹き来る風に, 石川県立看護大学人間科学領域, 全118頁, 2017.3

阿部智恵子: 地方都市における地域福祉活動の創出と変遷—金沢善隣館の活動を通して—. 参加と批評, 第10号, 171-177, 2016.3

石垣和子: 「ペットの家族化」から思うこと. 家族療法研究, 33(3), 359, 2016.12

岩城直子: FD・SD講演会「多様な価値観に基づく意思決定への支援—がん治療の選択における倫理的問題」を開催して. 平成28年度北陸がんプロチーム養成基盤形成プラン事業報告書, 42, 2017.3

大木秀一: 【8020特別対談】ライフコースアプローチの観点から、歯科医療・口腔保健を見直す. 会誌8020(公益財団法人8020推進財団), 16, 26-36, 2017.3

- 大木秀一：多胎児家庭の育児支援に役立つ図と表 2017(平成29)年作成版，1-21，2017.3
- 大木秀一：2016年度石川県立看護大学学内研究助成報告書 『多胎児用母子健康手帳』作成に向けて 全国多胎サークル代表者に対する意識調査結果および全国3地域での多胎育児支援事業報告，1-18，2017.3
- 大北全俊，遠矢和希，加藤穰，Franziska Kasch，花井十伍，横田恵子：HIV感染症における倫理的課題に関する研究．平成28年度 厚生労働科学研究費補助金(エイズ対策研究事業)研究報告書，170-174，2017.5
- 清水暢子：「北陸発！男女共同参画社会の裏事情」．NPO法人イーজেイネット メールマガジン(特定非営利活動法人 イーজেイネット (女性医師のキャリア形成・維持・向上をめざす会))，第74号，http://www.ejnet.jp/media/backnumber_074.html，2016.4
- 多久和典子：看護師国家試験 解剖生理学クリアブック 第2版(書評)．週刊医学界新聞 for Nurses，第3，188号，p.6，2016.8
- 北村立，谷本千恵，大江真吾，岡田幸子，竹下理代，福井可奈絵：単身認知症者に対する訪問看護の効果に関する研究—家族介護者へのインタビューより—．厚生労働科学研究費補助金(障害者政策総合研究事業)「精神科病院に入院する認知症高齢者の実態調査—入院抑制、入院期間短縮、身体合併症医療確保のために研究」分担研究報告書，9-14，2017.1
- 牧野智恵：北陸高度がんプロチーム養成基盤版形成プランの概要と本学におけるがん看護専門看護師養成の成果．北陸がんプロ報告書，2-3，2017.3
- 牧野智恵：本学におけるインテンシブコースの成果—「インテンシブA」「地域がん看護師養成コース」「地域がん看護活性化コース」—．北陸がんプロ報告書，7-9，2017.3
- 牧野智恵：「みんなで取り組もう抗がん剤曝露対策」公開講演を実施して．北陸がんプロ報告書，19，2017.3
- 牧野智恵：5年間の北陸高度がんプロチーム養成基盤版形成プランを振り返って．北陸がんプロ報告書，54，2017.3

6.4 学会発表

- 浅見洋：田辺元における死者と生者の実在協同について(シンポジウム発題)，比較思想学会第43回大会，大阪，2016.6
- 浅見洋：死生観と看取りケア(教育講演)，第47回日本看護学会，金沢，2016.9
- 浅見洋：寸心・大拙の思想を育んだ北陸宗教風土(基調講演)，第23回北陸宗教文化学会，かほく市，2016.10
- 浅見洋：日本人の死生観とエンドオブライフケア(記念講演)，日本エンドオブライフケア学会設立総会，東京，2016.10
- 浅見美千江，浅見洋，彦聖美：自宅で親を看取った経験について(第2報)—介護期間に体験したゆらぎと支え—(口演)，第18回日本在宅医学学会大会第21回日本在宅ケア学会学術集会合同大会，東京，2016.7，第18回日本在宅医学学会大会第21回日本在宅ケア学会学術集，259，2016
- 伊藤智子，加藤真紀，阿川啓子，浅見洋：中山間地域に暮らす人の死生観と終末期ケアニーズ：3年間の変化(ポスター発表)，第18回日本在宅医学学会大会第21回日本在宅ケア学会学術集会合同大会，東京，2016.7，第18回日本在宅医学学会大会第21回日本在宅ケア学会学術集，392，

2016

加藤真紀, 伊藤智子, 阿川啓子, 浅見洋: 島根県の市街地と中山間地域に暮らす人の死生観と終末期ケアニーズ(ポスター発表), 第18回日本在宅医学学会大会第21回日本在宅ケア学会学術集会合同大会, 東京, 2016. 7, 第18回日本在宅医学学会大会第21回日本在宅ケア学会学術集, 392, 2016

阿川啓子, 伊藤智子, 加藤真紀, 浅見洋: 中山間地域での終末期における介護者への希望と理想的な死の関係(ポスター発表), 第18回日本在宅医学学会大会第21回日本在宅ケア学会学術集会合同大会, 東京, 2016. 7, 第18回日本在宅医学学会大会第21回日本在宅ケア学会学術集, 393, 2016

阿部智恵子: 白山市における子育て支援の現状と課題, 日本都市学会第63回大会, 岡崎市, 2016. 10, 日本都市学会第63回大会報告要旨集, 134-135, 2016

Ito R., Amemiya Y., Tujimura M., Shimamura A., Kamei Y., Yoshida C., Ishigaki K/: The Process Causing Moral Distress Experienced by Care Managers in Japan, 19th EAFONS, 千葉, 2016. 3

阿川啓子, 石垣和子: ソーシャルキャピタルの活用に関する訪問看護師の母親支援における文化看護の一考察—医療依存度の高い乳幼児期の子供を療育する母親を対象にして—, 第8回文化看護学会, 千葉, 2016. 5

Ishigaki K., Ohwan A., Miyazaki M., Yamamoto H., Kaneko N., Tsukada H., Agawa K., *Yonezawa H., Sone S., Kakuchi T., *Kitano H.: Changes and Current Appearance of Japanese PHNs Activity, International Collaboration for Community Health Nursing Research Symposium 2016, UK, 2016. 9

*北野浩子, 角田雅彦, 石垣和子: 発達障害児の母親は乳幼児健診を通じた保健師の支援をどのように認識しているか, 第75回公衆衛生学会, 大阪, 2016. 10

*米澤洋美, 石垣和子: 全国のシルバー人材センター会員の健康管理に関する実態調査, 第5回公衆衛生看護学会, 仙台, 2017. 1

阿川啓子, 石垣和子: 病児の療養生活へのソーシャルキャピタルの活用—地域文化の影響についての一考察—, 第9回文化看護学会, 那覇, 2017. 3

石川倫子: 基礎教育修了時の看護技術の到達度と到達を難しくしている要因に関する調査, 第26回日本看護学教育学会, 東京, 2016. 8, 第26回日本看護学教育学会, 26, 205, 2016

大木秀一, 彦聖美: 多胎児に対する低出生体重児の概念の妥当性に関する実証研究, 第86回日本衛生学会, 旭川, 2016. 5, 日本衛生学雑誌, 71, Suppl, S206, 2016

大木秀一: ライフコース疫学における栄養の意義(シンポジウム NCD予防対策における栄養と口腔保健の連携の必要性), 第65回日本口腔衛生学会, 東京, 2016. 5, 日本衛生学雑誌, 63(10), 194, 2016

大木秀一: ライフコースアプローチとふたご研究(シンポジウム 遺伝学を通してヒトを理解する), 第74回日本生理人類学会, 石川, 2016. 10, 日本生理人類学会誌, 21(2), 23, 2016

大木秀一: 双生児データに基づくライフコースアプローチの可能性(シンポジウム ふたごが拓く予防医学の未来: ツインリサーチの可能性), 第75回日本公衆衛生学会, 大阪, 2016. 10, 日本公衆衛生学会誌, 第75回日本公衆衛生学会総会抄録集, 63(10), 526, 2016

大木秀一, 彦聖美: 多胎育児支援の実態に関する全国調査とセルフヘルプグループとしての意義,

- 第75回日本公衆衛生学会，大阪，2016.10，日本公衆衛生学会誌，第75回日本公衆衛生学会総会抄録集，63(10)，194，2016
- 彦聖美，大木秀一：高齢期の妻や親を介護する男性介護者の全国実態調査，第75回日本公衆衛生学会，大阪，2016.10，日本公衆衛生学会誌，第75回日本公衆衛生学会総会抄録集，63(10)，511，2016
- 大木秀一：当事者が参加する強みを生かして(シンポジウム 当事者が参加する強みを生かして)，日本双生児研究学会第30回学術講演会，埼玉，2017.1，日本双生児研究学会第31回学術講演会 プログラム・抄録，22，2017
- 大木秀一，彦聖美：多胎サークルに関する全国実態調査，日本双生児研究学会第30回学術講演会，埼玉，2017.1，日本双生児研究学会第31回学術講演会 プログラム・抄録，16，2017
- 垣花渉：課題基盤型学習を通して自らの健康を自らで管理する力を育てる，初年次教育学会第9回大会，徳島，2016.9，初年次教育学会第9回大会発表要旨集，52-53，2016
- 垣花渉：健康づくりをとおして「社会をつくる力」を育てる，Matching HUB Kanazawa 2016，金沢，2016.11，Matching HUB Kanazawa 2016要旨集，255，2016
- 加藤穰，大北全俊，遠矢和希，中村フランツィスカ：HIV/AIDSの検査に関する倫理的議論の変遷について-海外での文献調査をもとに，日本医学哲学・倫理学会第35回大会，兵庫，2016.11，日本医学哲学・倫理学会，2016
- 金谷雅代，西村真実子，千原裕香，本部由梨，柏女霊峰：在宅育児家庭における『通園保育』利用の効果の検討，第57回日本母性衛生学会，東京，2016.10，第57回日本母性衛生学会学術集会抄録集，268，2016
- Kaneko N，Ishigaki K：Comparison of child-rearing circumstances in urban and rural regions of a prefecture in Japan, The3rd KOREA-JAPAN Joint Conference on Community Health Nursing, Busan, Korea, 2016.7
- 金子紀子，石垣和子，大湾明美，宮崎美砂子，山本春江，*米澤洋美，塚田久恵，*阿川啓子，曾根志穂，*角地孝洋，*北野浩子：近年の地域保健を取り巻く地区の変化と保健活動の方法に関する研究，第75回日本公衆衛生学会総会，大阪，2016.10，第75回日本公衆衛生学会総会抄録集，63(10)，618，2016
- 金子紀子，石垣和子：子育て中の母親の子育て観と「おさがり」文化との関連，文化看護学会第9回学術集会，沖縄，2017.3
- 川島和代：ヒトはどのように高齢期を生きるか 日本生理人類学会 シンポジウム2 テーマ「看護学と生理人類学の接点」，日本生理人類学会 第74回大会(大会長小林宏光)，石川県七尾市和倉温泉観光会館，2016.10，日本生理人類学会誌，21特別号(2)，28，2016
- 邑井志帆，北山幸枝：養護教諭が行う湿潤環境理論に基づく創傷処置の実際，第25回日本創傷・オストミー・失禁管理学会学術集会，金沢，2016.6，日本創傷・オストミー・失禁管理学会誌，20(2)，222，2016
- 木森佳子，紺家千津子，松本勝：高齢者の静脈穿刺後皮下出血における皮膚バリア機能の評価，第25回日本創傷・オストミー・失禁管理学会学術集会，金沢，2016.6，日本創傷・オストミー・失禁管理学会第25回学術集会抄録集，20(2)，228，2016
- *松山未佳，*沢田眸，*野田咲央里，木森佳子，田淵知世：入院患者の清潔方法の違いによる皮膚バリア機能への影響-医療関連機器による皮膚障害のケア-，日本看護技術学会第15回学術集

- 会, 高崎, 2016. 9, 日本看護技術学会第15回学術集会講演抄録集, 67, 2016
- 古市佑哉, 木森佳子, 久保守, 佐藤賢二: Windowsタブレットと深度センサ付きカメラを用いた安価な穿刺支援システムの試作, 第4回看護理工学会学術集会, 岩手, 2016. 10, 第4回看護理工学会学術集会プログラム・抄録集, 51, 2016
- S. Sakurai, Y. Kohno, N. Sakurai: Japanese Family Caregivers Suffer More Stress Than They Realize, The 20th East Asian Forum OF Nursing Scholars, Hong Kong, 2017. 3
- 桜井志保美, 河野由美子, 前川厚子: 在宅療養者の家族介護者におけるレスパイトケア利用による睡眠の変化, 第36回日本看護科学学会学術集会, 東京, 2016. 12
- Shimizu N, Umemura T, Matunaga M, Hirai T: Interventions to help the rehabilitation of patients with schizophrenia living in the community: Use of a virtual reality sports game,, International Conferences on Community Health Nursing Research 2016 symposium, in U.K, 2016. 9, International Conferences on Community Health Nursing Research, 19, 2016
- Shimizu N, Umemura T, Matunaga M, Hirai T: Effects of Movement Music Therapy on the Cognitive Function of Elderly Individuals with MCI, The 3rd Korea-Japan Joint Conference on Community Health Nursing in Busan, in Korea, 2016. 7, Korea-Japan Joint Conference on Community Health Nursing, 15, 2016
- 曾根志穂: 神経難病患者と介護サービス事業者への保健師による在宅療養支援方法の検討
日本公衆衛生学会, 大阪, 2016. 10, 第75回日本公衆衛生学会総会抄録集, 63(10), 539, 2016
- 曾根志穂, 塚田久恵, 金子紀子, 石垣和子: 地域の高齢者とその家族への家庭訪問演習における学生の学び, 日本公衆衛生看護学会, 仙台, 2017. 1, 第5回日本公衆衛生看護学会学術集会講演集, 189, 2017
- *中谷朱里, 曾根志穂, 石垣和子: I県内市町における災害時避難行動要支援者支援制度の現状と保健師活動との連携について, 日本災害看護学会, 久留米, 2016. 8, 日本災害看護学会誌, 18(1), 141, 2016
- Sone S.: Current state of and problems related to student disaster volunteer activities conducted by Japanese public nursing colleges, The 20th East Asian Forum of Nursing Scholars, 香港, 2017. 3
- Sho Aki, Kazuaki Yoshioka, Yasuo Okamoto, Noriko Takuwa and Yoh Takuwa: Phosphatidylinositol 3-kinase class II α isoform PI3K-C2 α is required for transforming growth factor β -induced receptor endocytosis and endosomal signaling in endothelial cells. (シンポジウム 招待講演), The 2nd Spring Special Symposium of the Japanese Vascular Biology and Medicine Organization, 大阪, 2016. 6. 3, Abstract of the 2nd Spring Special Symposium of the Japanese Vascular Biology and Medicine Organization, , p. 18, 2016
- 岡本安雄, 杜娃, 崔弘, 吉岡和晃, 多久和典子, 多久和陽: S1P2 による血管新生と血管障壁機能の制御 (シンポジウム 招待講演), 第58回日本脂質生化学会 2016年6月9~10日 にぎわい交流館AU(あう)(秋田県秋田市)(シンポジウム: リゾリン脂質による血管新生制御), 秋田, 2016. 6. 10, 脂質生化学研究, 58, 10, 2016
- 多久和典子, 岡本安雄, 多久和陽: 宿主細胞のスフィンゴシン-1-リン酸受容体を介するがん

- 血行性転移の制御, 第26回日本病態生理学会大会, 石川, 2016. 8. 6, 日本病態生理学会雑誌, 25(2), 40, 2016
- Yasuo Okamoto, Hong Cui, Kazuaki Yoshioka, Noriko Takuwa, Toshishige Shibamoto, Yoh Takuwa. : S1P2, a receptor for the lysophospholipid mediator sphingosine 1-phosphate, protects against vascular barrier disruption. (シンポジウム 招待講演). , International Shock Congress Symposium "Microcirculation and endothelial damage in sepsis and shock", 東京, 2016.10.5, Shock , 46, Suppl 2, 28, 2016
- Sho Aki, Kazuaki Yoshioka, Yasuo Okamoto, Noriko Takuwa, Pham Quynh Hoa, MD Azadul Kabir Sarker, Khin Thuzar Aung, Shahidul Islam, Yoh Takuwa. : Phosphatidylinositol 3-kinase class II α isoform PI3K-C2 α is required for transforming growth factor β -induced receptor endocytosis and endosomal signaling in endothelial cells., 第39回日本分子生物学会年会, 横浜, 2016.11.30, Abstract of the 39th Annual Meeting of the Molecular Biology Society of Japan , p.264, 2016
- Kazuaki Yoshioka, Sho Aki, Noriko Takuwa, Yoh Takuwa. : Endothelial Class II PI3K-C2 α is Necessary for Vasucular Formation and Integrity through Regulating Endocytic Membrane Trafficking. (シンポジウム "Endothelium, health and diseases" 招待講演), 第81回日本循環器学会学術集会, 金沢, 2017.3.18, Program of the 81st annual scientific meeting of the Japanese circulation society, , p. 256, 2017
- Pham Quynh Hoa, Kazuaki Yoshioka, Sato Nakamura, MD Azadul Kabir Sarker, Khin Thuzar Aung, Shahidul Islam, Sho Aki, Noriko Takuwa and Yoh Takuwa. : Phosphoinositide-specific 3'-phosphatase, myotubularin-related protein 4 (MTMR4), regulates lysosomal activity and autophagy. , 第94回日本生理学会大会, 浜松, 2017.3.30, J Physiological Sci., 67, Suppl.1, S174, 2017
- Khin Thuzar Aung, Sho Aki, Kazuaki Yoshioka, Pham Hoa Quynh , MD Azadul Kabir Sarker, Islam Shahidul, Noriko Takuwa, Yoh Takuwa. : Phosphatidylinositol 3-kinase Class II isoforms, PI3K-C2a and PI3K-C2b are necessary for Pinocytosis in Endothelial Cells, 第94回日本生理学会大会, 浜松, 2017.3.30, J Physiological Sci., 67, Suppl.1, S174, 2017
- *中川いずみ, 武山雅志 : 看護師の自己教育力尺度の作成および妥当性・信頼性の検討, 第20回日本看護管理学会学術集会, 横浜, 2016.8, 第20回日本看護管理学会学術集会抄録集, 348, 2016
- 武山雅志, 曾根志穂, 金谷雅代, *中谷朱里, 石垣和子 : 地域の防災活動に看護学生が関わる意義と役割 - 県立看護系大学災害ボランティアサークル活動をベースに -, 日本災害看護学会第18回年次大会, 久留米, 2016.8, 日本災害看護学会誌, 18(1), 88, 2016
- 武山雅志, 岩脇陽子, 北岡和代, 室田昌子, 丸岡直子 : 友人関係から見た看護学生のコミュニケーションスキルの特徴, 第36回日本看護科学学会学術集会, 東京, 2016.12, 第36回日本看護科学学会学術集会プログラム集, 32, 2016
- 谷本千恵 : 高松病院のインシデントレポートにおける自傷・自殺企図に関する分析, 第29回石川県立高松病院こころの臨床学会 , かほく市, 2017.3, 第29回石川県立高松病院こころの臨床学会抄録集 , 7, 2017

- 田淵知世, *野田咲央里, *沢田眸, *松山未佳, 木森佳子: 看護職の手荒れが患者とその療養環境に与える影響, 日本看護技術学会第15回学術集会, 高崎, 2016. 9, 日本看護技術学会第15回学術集会講演抄録集, 15, 80, 2016
- *沢田眸, *松山未佳, 中嶋知世, 木森佳子: 鼻腔カニューレ装着時における皮膚バリア機能, 日本創傷・オストミー・失禁管理学会第25回学術集会, 金沢, 2016. 6, 日本創傷・オストミー・失禁管理学会誌, 20(2), 207, 2016
- 田村幸恵, 丸岡直子, 林静子: 看護学実習における大学教員の調整行動の構造, 日本看護学教育学会第26回学術集会, 東京, 2016. 8, 日本看護学教育学会第26回学術集会講演集, 第26巻, 220, 2016
- Chihara Y., Nishimura M., Kanaya M., Hombu Y., *Dateoka S., *Terai T., Narita M.: Reliability and Validity of “the Parenting and Finding-myself Program” Evaluation Scale, 15th World Congress of the World Association for Infant Mental Health, Prague Czech Republic, 2016.5, Program Book, 103, 2016
- 塚田久恵: 半島に暮らす人々のヘルスリテラシーの特徴と保健行動改善に向けての探索的研究, 第75回日本公衆衛生学会, 大阪, 2016.10, 第75回日本公衆衛生学会総会抄録集, 63(10), 388, 2016
- 塚田久恵, 曾根志穂, 金子紀子, 石垣和子: 保健師教育における高齢者の継続家庭訪問演習を試みての評価—学生の自己評価を通しての考察—, 日本公衆衛生看護学会, 仙台, 2017.1, 第5回日本公衆衛生看護学会学術集会講演集, 5, 190, 2017
- 中田弘子, 三輪早苗, 田淵知世, *田中麻奈美, *中家菜々美, *山崎祥絵, 小林宏光: ハンドマッサージが脳活動に与える影響—前頭前皮質酸化ヘモグロビン濃度および主観的指標の観点から—, 日本生理人類学会, 和倉, 2016.10, 日本生理人類学会誌第74回大会要旨集, 83, 2016
- 中田弘子: 交流集会 ハンドケアのデザイン—手のケアをつむぐ—, 看護実践学会, 内灘, 2016.9, 看護実践学会第10回学術集会講演集, 92, 2016
- 中道淳子, 森田聖子, 磯光江, 小林宏光: 高齢者へ笑いヨガ実施時における脳血流の変化, 日本認知症予防学会, 仙台, 2016.9, 第6回日本認知症予防学会学出集会抄録集, 163, 2016
- Nishimura M., Kanaya M., Yoneda M., Soyama S., Chihara Y., *Hombu Y., *Dateoka S.: Evaluation of Group Meetings on Parenting by Mothers of Infant Experienceing Childcare Difficult, 15th. World Congress of the World Association for Infant Mental Health, Prague, Czech Republic, 2016.5, Program Book, , 95, 2016
- *伊達岡五月, 西村真実子: 育児不安・育児困難予防を目指した妊娠期からのグループ支援「妊婦プログラム」の評価: 不安軽減の側面から, 日本子ども虐待防止学会第22回学術集会おおさか大会, 大阪, 2016.11, 日本子ども虐待防止学会第22回学術集会おおさか大会抄録集, 一, 211, 2016
- Chiemi Neyoshi, Sugako Tamura: Rural area public health nurses' support for parents of children with autism spectrum disorder to facilitate acceptance of their child's disorder., The 3rd KOREA-JAPAN Joint Conference on Community Health Nursing, 釜山, 2016.7, The 3rd KOREA-JAPAN Joint Conference on Community Health Nursing, 75, 2016
- 子吉知恵美, 田村須賀子: 発達障害児とその家族に対し保育士と連携しながら家族全体を支える

- 保健師による支援, 第18回日本在宅医学会大会・第21回日本在宅ケア学術集会合同大会, 東京, 2016. 7, 第18回日本在宅医学会大会・第21回日本在宅ケア学術集会合同大会後援抄録集, 388, 2016
- 子吉知恵美, 田村須賀子: 発達障害児と保護者に対する地域特性に応じた保健師による就学前支援, 日本地域看護学会第19回学術集会, 栃木, 2016. 8, 日本地域看護学会第19回学術集会後援集, 166, 2016
- Chiemi Neyoshi, Sugako Tamura, Yoko Yamazaki: Public health nurses' support in mountainous areas and remote islands for children with autism spectrum disorder to enable their early access to support services, The 20 EAFONS, 香港, 2017. 3, , , ,
- 望月美也子, 長谷川昇, 山田恭子, 加藤真弓, 鳥居昭久, 清水暢子: 高齢者の血清ビタミンD濃度とビタミンD摂取量が運動および認知機能に及ぼす影響, 日本薬学会第137年会, 仙台, 2017. 3
- 瀧本千紗, 瀧耕子: 1歳6か月児を養育する父親の育児家事行動の特徴と夫婦関係満足度との関連, 第75回日本公衆衛生学会, 大阪, 2016. 10, 第75回日本公衆衛生学会総会抄録集, 63(10), 453, 2016
- *石黒倫子, 林一美: 在宅療養における末期がん患者の家族介護者に対する介護支援専門員の支援内容, 日本在宅看護学会, 東京, 2016. 11. 19, 日本在宅看護学会誌, 5(1), 90, 2016
- *菅池明日美, *家中昭乃, 林静子: 看護学生の無菌操作場面における視線軌跡の特徴, 日本看護技術学会第15回学術集会, 群馬, 2016. 9, 日本看護技術学会誌, 61, 2016
- 大黒理恵, 林静子, 堀悦郎, 大河原千嘉子, 寺井梨恵子: アイカメラを教育に活かそう! (交流セッション), 日本看護技術学会第15回学術集会, 群馬, 2016. 9, 日本看護技術学会誌, 57, 2016
- 林静子: 看護教育における眼球運動計測装置の活用 (研究会セミナー講演), 第2回 Medical Art Expert研究会セミナー, 京都, 2016. 12. 10
- 久保博子, 牧野智恵: がん患者への就労支援プログラムの試み, 第31回日本がん看護学会, 高知, 2017. 2, 第31回日本がん看護学会誌, 31, 45, 2017
- 高野智早, 牧野智恵: がん患者のセクシュアリティに対する看護師の態度尺度の開発, 第31回日本がん看護学会、交流集会, 高知, 2017. 2, 第31回日本がん看護学会誌, 31, 160, 2017
- 時山麻美, 牧野智恵, 北野真実: 「常設サロン」におけるピアサポートを受けたがん患者の体験—小松市民病院の取り組みから—, 第21回日本緩和医療学会学術大会, 京都, 2016. 6, 第21回日本緩和医療学会学術大会抄録集, 21, S282, 2016
- 高野智早, 牧野智恵: がん患者のセクシュアリティに対する看護実践を困難にする要因 文献的考察, 第21回日本緩和医療学会学術大会, 京都, 2016. 6, 第21回日本緩和医療学会学術大会抄録集, 21, S408, 2016
- 牧野智恵, 松本友梨子, 時山麻美: 実存的空虚を抱くがん体験者への「意味」を中心とした支援を考える—V. E. フランクルのロゴセラピーの視点から, 第31回日本がん看護学会、交流集会, 高知, 2017. 2, 第31回日本がん看護学会誌, 31, 302, 2017
- 松本智里, 加藤真由美, 谷口好美, 平松知子: 女性人工股関節全置換術患者の回復過程における歩容の自己評価の変化と心理社会的側面からの影響, 第36回日本看護科学学会学術集会, 東京, 2016. 12, 第36回日本看護科学学会学術集会 プログラム集, PA-16-06, 2016
- 松本智里, 兼氏歩, 福井清数, 高橋詠二, 平松知子, 谷口好美: 女性人工股関節全置換術患者

と低侵襲寛骨臼骨切り術患者の回復過程における歩容の自己評価と心理社会的側面の比較, 第43回日本股関節学会学術集会, 大阪, 2016. 11, 第43回日本股関節学会学術集会 プログラム・抄録集, 506, 2016

*林真砂美, 丸岡直子, 林静子: 急性期病棟の看護師による患者・家族の療養生活の予測に基づく退院支援, 第20回日本看護管理学会学術集会, 横浜, 2016. 8. 19, 日本看護管理学会, 323, 2016

*北村日菜, 丸岡直子, *竹内香織, 石川倫子: 外来看護師による在宅療養移行支援の実態(第1報) - 入院決定から入院するまでに焦点をあてて, 第20回日本看護管理学会学術集会, 横浜, 2016. 8. 19, 日本看護管理学会, 323, 2016

*竹内香織, 丸岡直子, *北村日菜, 石川倫子: 外来看護師による在宅療養移行支援の実態(第2報) - 患者の入院中・退院後に焦点をあてて, 第20回日本看護管理学会学術集会, 横浜, 2016. 8. 19, 日本看護管理学会, 324, 2016

*仙本禎恵, 丸岡直子, 林静子: 新人看護師が一人で初めて車椅子移乗援助を実施する際に感じる戸惑い, 日本看護学教育学会第26回学術集会, 東京, 2016. 8, 日本看護学教育学会, 26, 227, 2016

*近江翔子, 丸岡直子: 看護学生の転倒リスク場面に対する視覚による観察とアセスメントー臨地実習前の看護学生に焦点をあてて, 日本看護技術学会第15開学術集会, 高崎, 2016. 9, 日本看護技術学会, 65, 2016

丸岡直子: マネジメントの芽生えは看護基礎教育から, 第47回日本看護学会-看護管理(交流集会1-マネジメントの芽生えを育てる), 金沢, 2016. 9, 第47回日本看護学会-看護管理-学術集会抄録集, 82, 2016

中野泰規, 村井嘉子: クリティカルケア看護師のICU/CCUに緊急入室した患者の家族に対するアプローチの特徴, 第18回日本救急看護学会学術集会, 千葉, 2016. 10. 29 ~ 30, 第18回日本救急看護学会学術集会抄録, 18 (3), 228, 2016

Yamazaki C., Hayashi K.: Cooperation with Psychiatrists in the Practice of Japanese Home Visiting Nurses, International Collaboration for Community Health Nursing Research Symposium 2016, UK, 2016. 9, International Collaboration for Community Health Nursing Research International Symposium 2016, 36, 2016

山崎智可, 林一美: 訪問看護師の医師との連携における実践と課題に関する文献レビュー, 第9回文化看護学会学術集会, 沖縄, 2017. 3, 24, 2017

6.5 社会活動・地域貢献

浅見洋: 西田哲学会理事

浅見洋: 日本宗教学会理事 学会賞選考委員

浅見洋: 比較思想学会評議員、北陸支部会長

浅見洋: 北陸宗教文化学会 理事・監事

浅見洋: 日本医学哲学・倫理学会評議員、運営委員

浅見洋: 石川県西田幾多郎記念哲学館館長

浅見洋: かほく市総合計画審議会委員

浅見洋：公益信託能登町エンデェバーファンド21 運営委員

浅見洋：西田幾多郎博士頌徳会理事

浅見洋：北國新聞主催「新聞を読んで感想文コンクール」審査員

浅見洋：石川県博物館協会監事

浅見洋：日本エンドオブライフケア学会 理事・学会活動推進委員

浅見洋：石川県民大学（専門講座）西田幾多郎講座「田辺元「死の哲学」とはどのような哲学か？」，石川県西田幾多郎記念哲学館，2016. 4. 30

浅見洋：平成28年度かほく市教職員全体研修会「教育者としての西田幾多郎」，石川県西田幾多郎記念哲学館，2016. 5. 6

浅見洋、長谷川昇：来人喜人（きときと）里創りプロジェクト事業「第30回猿鬼歩こう走ろう健康大会」健康キャンペーン実施，能登町，2016. 5

浅見洋、長谷川昇：来人喜人（きときと）里創りプロジェクト事業「能登町健康特産品クライネメッセ」開催，石川県立看護大学，2016. 10

浅見洋：金沢検定対策講座～中級・上級合同クラス～「偉人と教育」，北國新聞文化センター，2016. 7. 9

浅見洋：西田幾多郎記念哲学館企画展示講演「幾多郎と作太郎～同じ悲しみを抱きながら～」，西田幾多郎記念哲学館，2016. 7. 18

浅見洋：石川県学校教育経営研究会総会「教育者としての西田幾多郎」，西田幾多郎記念哲学館，2016. 7. 30

浅見洋：西田幾多郎博士作品を吟ずる第14回全国吟詠大会「西田幾多郎の歌」，西田幾多郎記念哲学館，2016. 9. 4

浅見洋：富山看護協会平成28年度研修会 認定看護管理者教育課程ファーストレベル「看護実践における倫理」，富山県看護研修センター，2016. 9. 7

浅見洋：津幡町観光ボランティアガイド講演会「西田哲学入門－西田幾多郎と津幡町の接点から－」，津幡町役場2階大会議室，2016. 9. 26

浅見洋：平成28年度第110期高砂大学校「鈴木大拙にふれる」，金沢中央公民館，2016. 10. 11, 12, 14

浅見洋：富山看護協会平成28年度研修会 富山県保健師助産師看護師等実習指導者講演会「看護倫理」，富山県看護研修センター，2016. 11. 9

浅見洋：高松病院職員研修会「日本人の死生観と看取りの現実」，石川県西田幾多郎記念哲学館，2016. 11. 12

浅見洋：「管理者の倫理的意志決定－倫理的感受性－」看護経営者論、認定看護管理者教育課程（サードレベル）講師，石川県立看護大学，2016. 11. 14

浅見洋：金沢・現代会議パネルディスカッション「世界人としての日本人」（シンポジスト），金沢市文化ホール，2016. 11. 17

浅見洋：大阪商業大学同窓会支部創立10周年記念講演「今を生きる西田哲学と現代」，ホテル金沢，2016. 11. 19

浅見洋：野々市寿大学校教養講座「鈴木大拙に触れる」，野々市市中央公民館，2016. 11. 25

浅見洋：志賀町歴史研究会「鈴木大拙に触れる」，富来活性化センター，2016. 11. 28

浅見洋：国立長寿医療研究センター高齢者医療・在宅医療総合看護研修「死生観とEOLケア」，国

立長寿医療研究センター，2016.12.5

浅見洋：石川県生と死を考える会研修会「日本人の死生観と看取りの現在」，石川県女性センター，2016.12.9

浅見洋：「管理者の倫理的意志決定ー管理者の倫理的ジレンマ」看護経営者論、認定看護管理者教育課程（サードレベル）講師，石川県立看護大学，2016.12.20

浅見洋：人間環境大学大学院看護学研究科教育講演会「日本人の死生観とエンドオブライフケア」，人間環境大学，2017.1.27

浅見洋：かほくロータリークラブ卓話「現代を生きる西田哲学」，かほく市七塚生涯学習センター，2017.2.8

浅見洋：第30回山田シンポジウム「越の国の思想風土～西田と大拙を中心に～」，山田公民館（南砺市），2017.3.5

阿部智恵子：平成28年度JICA日系研修講師，石川県立看護大学地域ケアセンター，2016.8.24,25

石垣和子：石川県医療審議会委員

石垣和子：石川県医療計画推進委員

石垣和子：大学コンソーシアム石川理事

石垣和子：石川県ユニセフ協会評議員

石垣和子：NPO法人 地域保健研究会理事

石垣和子：NPO法人 いしかわ在宅支援ねっと理事

石垣和子：かほく市介護保険運営協議会委員

石垣和子：沖縄県立看護大学外部評価委員

石垣和子：沖縄県立看護大学あり方検討委員会委員

石垣和子：日本ルーラルナーシング学会副理事長

石垣和子：日本家族看護学会監事

石垣和子：大学評価・学位授与機構 機関別認証評価専門委員

石垣和子：日本看護系大学協議会プライマリケア看護ナースプラクティショナー教育課程審査委員

石垣和子：かほく地区日中友好協会会長（石川県）

石垣和子：シンポジスト：看護におけるデータ推進型思考の意義，第74回生理人類学会，石川県七尾市観光会館，2016.10.23

石垣和子：いきいきシニア講演会シニアの力と経験知～inかほく，石川県立看護大学，2017.3.14

石垣和子：シンポジウム「地域文化のケア力」シンポジスト：スキーマと文化ケア，第9回文化看護学会，沖縄県立看護大学，2017.3.19

石川倫子：厚生労働省看護教員養成講習会事業 評価委員

石川倫子：日本看護協会 特定行為研修管理委員会 委員

石川倫子：石川県准看護師試験委員

石川倫子：看護実践学会 査読委員

石川倫子：教務主任養成講習会講師（看護学教育評価），東京慈恵医科大学，2016.9～10

石川倫子：石川県実習指導者講習会（特定分野）講師，石川県立看護大学，2016.8.24,25,9.14,15

石川倫子：石川県看護教員現任研修 講師，石川県立看護大学，2016.6.11,25,7.2,12.17

磯光江：看護研究指導・講評，河北中央病院，2016.5.16,12.14

今井美和：日本病理学会学術評議員

今井美和：第105回 日本病理学会総会 ポスター発表（一般）70 女性生殖器・子宮頸部 座長，
仙台国際センター，2016. 5. 13

今井美和：感染管理認定看護師教育課程 「学内演習（微生物検査演習）」 非常勤講師，石川県立看護大学，2016. 9. 26～28

今井美和：平成28年度 市民公開講座 「がんになっても自分らしく生きる がん体験者と専門看護師からのメッセージ」 司会，石川県立看護大学，2017. 3. 11

岩城直子：日本がん看護学会代議員

岩城直子：第16回日本救急看護学会学術集会企画実行委員

岩城直子：JICAカンボジア青年研修コーディネーター・実施，石川県立看護大学、研修施設，
2016. 11. 30～12. 13

岩城直子：臨床で行なうリンパ浮腫のケア 企画・実施，石川県立看護大学，2016. 7. 10

岩城直子：多様な価値観に基づく意思決定の支援ーがん治療選択における倫理的問題 企画・実施，ホテル金沢，2016. 12. 17

岩城直子：がん看護事例検討会 企画・実施，石川県立看護大学，2016. 5～2017. 3

大木秀一：日本公衆衛生学会 査読委員

大木秀一：日本小児保健学会 査読委員

大木秀一：日本民族衛生学会 査読委員・評議員

大木秀一：日本双生児研究学会 幹事 事務局

大木秀一：The Journal of Obstetrics and Gynaecology Research, Reviewer

大木秀一：Journal of Epidemiology, Reviewer

大木秀一：日本衛生学会 双生児医学連携研究会 世話人

大木秀一：日本看護科学学会 和文誌統計担当査読委員

大木秀一：NPO法人 日本多胎支援協会 理事

大木秀一：NPO法人 いしかわ多胎ネット 副理事

大木秀一：東京大学教育学部附属中等教育学校 双生児特別検査委員

大木秀一：石川県公害審査会委員

大木秀一：一般財団法人北陸産業活性化センター北陸ライフサイエンスクラスター推進室 北陸ライフケアシステム研究会委員

大木秀一：「小児看護学方法論Ⅱ（小児疾患）」講義，金沢医療技術専門学校，2016. 5

大木秀一：多胎育児支援研修会 「多胎育児支援が必要な理由と保健医療専門職（特に助産師・保健師）と当事者の連携」 講師，旭川市子ども総合相談センター，2016. 5

大木秀一：ピアサポーター養成講座「多胎の基礎知識」講師，金沢市教育プラザ富樫，2016. 6

大木秀一：「公衆衛生学」講義，東邦大学，2016. 6

大木秀一：第7回全国フォーラム基調講演「切れ目のない多胎児家庭の支援をめざして ～多胎出産の聖地・鹿児島から全国へ～」 講師，鹿児島市立病院，2016. 6

大木秀一：多胎育児支援研修会 「双子が多い町から、子育てしやすい環境づくりを目指して ～全国の双子の育児支援と保育・教育～」 講師，サンホールはびねす，2016. 7

大木秀一：感染管理認定看護師教育課程「疫学と統計学」講義，石川県立看護大学，2016. 7

大木秀一：多胎児ファミリー応援フェスタ「見て！知って！体験して！双子ちゃん・三つ子ちゃん

ん達の世界 ～これから先に続く子育て支援の輪とネットワーク～」 講師，浜名湖競艇場，2016.9

大木秀一：講演会・勉強会「多胎の子育てしやすい環境づくりを目指して」 講師，佐賀市ほほえみ館，2016.11

彦聖美，大木秀一：第2回男性介護者・家族介護者能登会議、主宰者，石川県立生涯学習センター能登分室，2016.11

大木秀一：JICA青年研修「疫学と保健医療政策」 講師，石川県立看護大学，2016.12

大木秀一：「疫学」講義，山梨大学，2016.12

大木秀一：文献検索のコツ：アドバンス編 ミニレクチャー 講師，地域ケア総合センター，2016.12

大木秀一：第11回ジェネラリスト教育コンソーシアム「社会疫学と総合診療」 講師，神戸大学医学部附属地域医療活性化センター，2017.1

織田初江：津幡町健康推進協議会委員

織田初江：羽咋市国保運営協議会委員

織田初江，山崎智可，金子紀子：限界集落における閉じこもり予防活動，宝達志水町，2016.10.9，11.13，2017.1.29，3.5

織田初江：石川県新任保健師研修会・講師，石川県庁，2016.9.12～14

織田初江：富山県新任保健師研修会・講師，富山県民会館，2016.9.1～2

織田初江：富山県保健師キャリアアップ研修会・講師，富山県民会館，2016.6.6，9.6，11.14，2017.1.17

垣花涉：シティーカレッジ授業「石川の市町、かほく市・宝達志水町」 授業コーディネーター

垣花涉：講義 石川県地域スポーツ指導者養成講習会「中高齢者の体力とスポーツ指導」

垣花涉：講演 北國健康生きがい支援事業「今すぐできる健康法—スモールチェンジ活動のススメ」

垣花涉：招待講演 石川県スポーツ推進委員研修会「健康の秘訣は、家やオフィスでの生活にある」

垣花涉：シンポジウム 石川県スポーツ推進委員研修会「誰もが楽しめるスポーツ活動をめざして」コーディネーター

垣花涉：招待講演 白山市健康づくり推進員連絡協議会総会 「今すぐできる健康法」

垣花涉：日本体力医学会 学会評議員

垣花涉：石川県大学健康教育研究会 委員

垣花涉：NPO法人クラブパレット アドバイザー

垣花涉：石川県広域スポーツ支援センター「クラブネットいしかわ」運営委員会 委員

垣花涉：かほく市観光物産協会 理事

垣花涉：羽咋市国民健康保険運営協議会 委員

垣花涉，長谷川昇，川島和代，渡辺達也：「歩くスモールチェンジ」健康づくり，看護大学，2016.5～2017.3

垣花涉：棚田が織りなす食・緑・健康の郷づくり，津幡町興津地区，2016.4～2017.3

垣花涉：いきいき美人大学校，看護大学，2016.8，9，2017.3

垣花涉，渡辺達也：「健康カフェ」事業，津幡町中条地区公民館，2016.4～2017.3

垣花涉, 渡辺達也 : かほく市発ヘルスプロモーション事業ワクワク健康サークル活動, 石川県立看護大学, 2016.4 ~ 2017.3

加藤穰 : 編集委員 : 丸善出版『生命倫理百科事典 (第2版)』翻訳刊行

加藤穰 : 生命科学と倫理 (J), 立命館大学法学部, 2016.9.25 ~ 2017.3.31

加藤穰 : 生命科学と倫理 (L), 立命館大学文学部, 2016.9.25 ~ 2017.3.31

金谷雅代 : 医療的ケアに関する研修の講師と医療的ケア実践場面の観察・助言, 石川県立錦城特別支援学校, 2016.12.19

金谷雅代 : 「小児保健コンサルテーション」講義, 石川県立保育専門学園, 2016.4 ~ 7

金谷雅代 : 看護研究指導・講評, 浅ノ川総合病院, 2016.5.21, 6.25, 9.17, 11.26

金子紀子 : かほく市介護認定審査会委員

金子紀子 : イオンモールウォーキング事業 健康レッスン講師, イオンモールかほく, 2016.11.15

金子紀子 : JICA青年研修 講師, 2016.12

川島和代 : 大学間連携共同教育推進事業「学都いしかわ課題解決型グローバル人材育成市システムの構築」地域連携委員

川島和代 : 能登キャンパス構想推進協議会 委員

川島和代 : かほく市地域ケア推進会議 委員

川島和代 : 津幡町認知症安心ネットワーク推進委員会 委員

川島和代 : 看護科学研究学会 理事

川島和代 : 看護実践学会 理事・査読委員

川島和代 : 高齢者ケア協会 理事

川島和代 : 日本看護科学学会 社員

川島和代 : 日本看護未病システム学会 評議員・査読委員

川島和代 : 日本老年看護学会 評議員・査読委員・生涯学習支援委員

川島和代 : 日本看護研究学会 評議員

川島和代 : 日本看護研究学会近畿・北陸地方会世話人

川島和代 : NPOトトロの家 理事

川島和代 : NPOまちかど倶楽部たかまつ 理事

川島和代 : 石川県介護支援専門員協会 河北支部 運営委員

川島和代 : 院内研修「ナイチンゲール看護論」講師, 春日井市民病院, 2016.5

川島和代 : 院内研修「看護過程展開能力を高める」講師, 春日井市民病院, 2016.7

川島和代 : 院内研修「看護の質評価」講師, 春日井市民病院, 2016.12

川島和代 : NHK学園CSネットワーク第11回全国研修大会 フォーラムコーディネーター「耀いて生きる! ~かなざわ発 共生できるまちづくり~」, 金沢歌劇座, 2016.1

川島和代 : 内灘町鶴ヶ丘北公民館いきいきサロン講師「こころと身体の健康づくり~日々の生活に笑いと運動を取り入れて~」, 鶴ヶ丘北公民館, 2016.7

川島和代 : 石川県立盲学校「介護技術」講師, 石川県立看護大学スキルラボ, 2016.9

川島和代 : かほく市介護従事者研修会「高齢者介護に必要な基本的な医療知識と接し方について」講師, かほく市役所, 2016.9

川島和代 : 日本リビングウイユ研究会北陸地方会 福井研修会「高齢者の人生の最晩年の過ごし

し方 ～食事を通して考える～, 福井市地域交流プラザ AOSSA, 2016. 9

川島和代: 日本リビングウイル研究会北陸地方会 富山研修会「平穏死の条件」講師

川島和代: 事例検討会「よりよい看護実践をめざして」講師

川島和代: 院内研修「ナイチンゲール看護論」講師, JCHO金沢病院, 2016. 9

川島和代: 津幡町認知症安心ネットワーク推進委員会事業 津幡町認知症フォーラム コーディネーター

清水奈緒美, 吉田弘毅, *村上真由美, *森垣こずえ, *高野智早, 川島和代: 複雑な事例を専門看護師と共に検討しよう, 大講義室, 2016. 9.

川島和代: 社会福祉法人やすらぎ福祉会 特別養護老人ホームやすらぎホーム 研修「高齢者の生活に寄り添い、支える、ということ」講師, 特別養護老人ホームやすらぎホーム, 2016. 11

川島和代: 石川県看護協会創立50周年記念座談会, 金沢大学附属病院内 研修室, 2016. 12

川村みどり: 看護実践学会誌査読委員

川村みどり: 看護研究指導・講評, 公立宇出津総合病院, 2016. 6 ~ 2017. 2

川村みどり: 家族交流会講師, 社会福祉法人なごみの郷, 2016. 11

川村みどり: 研修会講師, NPO法人トトロの家, 2016. 7

北山幸枝: 日本褥瘡学会 評議員

北山幸枝: 第25回日本創傷・オストミー・失禁学会学術集会実行委員

北山幸枝: 第46回日本創傷治癒学会 実行委員

木森佳子: 看護理工学会 査読委員

木森佳子: コ・メディカル形態機能学会選挙管理委員会委員長

木森佳子: 第25回日本創傷・オストミー・失禁学会学術集会実行委員

木森佳子: 第10回看護実践学会学術集会講評

木森佳子: 看護研究指導・講評, 公立能登総合病院, 2016. 6, 2017. 1

木森佳子: JICAパラグアイ国日系研修「カントリーレポート」発表, 石川県立看護大学研修室, 2016. 7. 29, 8. 1

木森佳子: 認定看護管理者教育課程サードレベル「アカデミックリテラシー」講義, 石川県立看護大学研修室, 2016. 11. 1

小林宏光: 日本生理人類学会理事

小林宏光: Journal Physiological Anthropology. Associate editor

小林宏光: 日本生理人類学会74回大会長

小林宏光: 千葉大学健康環境フィールド科学センター倫理審査委員会外部委員

小林宏光: Clinical Autonomic Research. Reviewer

小林宏光: International Journal of Environmental Research and Public Health. Guest editor for social issue.

小林宏光: Journal Physiological Anthropology. Reviewer

小林宏光: European Journal of Applied Physiology, Reviewer

小林宏光: 「人間工学」講義, 高岡市医師会看護専門学校, 2016. 4-9

小林宏光: 「認定看護管理者教育課程 (サードレベル)」講義, 石川県立看護大学, 2016. 12

小林宏光: 講演「心拍変動測定 of 技術と問題点」, 東京工業大学, 2016. 11

小林宏光：「睡眠とサーディアンリズム」講義，名古屋大学・大幸キャンパス，2016.7

桜井志保美：内灘町働く女性の家運営委員副委員長

桜井志保美：家族介護者教室・講演，かほく市役所，2016.12.15

桜井志保美：「国際看護」講義，金沢医科大学看護学部，2016.4.1～30

清水暢子：宝達志水町健康づくり推進員研修会「鳴子の音楽運動療法」講師，看護大学体育館，2016.6.28

清水暢子：介護予防「元氣いきいき教室」鳴子の音楽運動療法講師，有料老人ホームディサービス NOA，2016.6.10

清水暢子：介護予防「元氣いきいき教室」鳴子の音楽運動療法講師，七尾市石崎福祉会館，2016.7.20

清水暢子：介護予防「元氣いきいき教室」鳴子の音楽運動療法講師，羽咋市社会福祉協議会老人福祉センター，2016.6.10

清水暢子：介護予防「元氣いきいき教室」鳴子の音楽運動療法講師，羽咋市社会福祉協議会「ヘルパー研修会」，2016.6.10

清水暢子：介護予防「元氣いきいき教室」鳴子の音楽運動療法講師，志賀町すみれ作業所 保護者研修会，2016.8.23

清水暢子：介護予防「元氣いきいき教室」鳴子の音楽運動療法講師，有料老人ホームディサービス Welina，2016.8.3

清水暢子，NPO法人生涯体育学習振興機構：永平寺町地域包括支援センター介護予防教室「元氣いきいき教室」共同主催・講師，福井県永平寺町「牧福島生活改善センター」「浅見生活改善センター」「松岡志比堺ふれあい会館」「松岡吉野堺生活改善センター」「永平寺老人福祉センター」「谷口生活改善センター」，2016.7～2017.2

清水暢子，日本ALS協会福井支部：日本ALS協会福井支部総会&講演会・事務局，福井県立病院，2016.6.26

曾根志穂：かほく市介護保険認定審査会委員

曾根志穂：宝達志水町在宅医療・介護連携推進協議会委員

曾根志穂：看護研究指導・講評，国民健康保険志雄病院，2016.5～2017.1

曾根志穂：薬物乱用防止教室，かほく市立大海小学校，2017.1

曾山小織：「統計学」講義，高岡市立看護専門学校，2016.6～9

曾山小織：看護研究指導・講評，珠洲市総合病院，2016.5.15，10.23，2017.3.5

曾山小織，米田昌代：孫育て教室，石川県女性センター，2016.8.6

多久和典子：金沢大学大学院医薬保健学総合研究科協力研究員・非常勤講師

多久和典子：日本生理学会評議員・将来計画委員長

多久和典子：日本生化学会北陸支部幹事

多久和典子：自然科学研究機構生理学研究所運営会議委員

多久和典子：石川県立看護大学地域ケア総合センター人材育成事業「症状の身体所見・検査からの臨床推論」講師，石川県立看護大学附属図書館，2016.9.3

多久和典子：石川県立鹿西高校出張授業「メタボリックシンドロームを知ろう」，石川県立鹿西高校，2016.9.14

多久和典子：金沢家庭裁判所健康管理講習会「健康診断の結果の見方 ～そんな見方で大丈夫？

数値を活かして、健康な身体づくり～」、金沢家庭裁判所、2016.10.7

多久和典子：国家試験対策セミナー、石川県立看護大学、2016.8.23

武山雅志：石川県精神保健福祉協会副会長

武山雅志：石川県精神保健福祉協会会報編集委員

武山雅志：石川県臨床心理士会会長

武山雅志：生徒指導・発達障害サポートチーム委員

武山雅志：(公財)いしかわ女性基金運営委員

武山雅志：(公社)金沢こころの電話相談役

武山雅志：(公社)石川被害者サポートセンター副理事長

武山雅志：金沢市保健審議会委員

武山雅志：金沢市いじめ防止等対策委員会委員

武山雅志：金沢市保健審議会委員

武山雅志：かほく市不登校問題対策運営協議会委員

武山雅志：かほく市地域交通会議委員

武山雅志：かほく市ケーブルテレビ放送番組審議会委員

武山雅志：羽咋郡市広域圏事務組合情報公開及び個人情報保護審査会委員

武山雅志：かほく市地域交通会議委員

武山雅志：学生等災害ボランティアリーダー育成事業研究会委員

武山雅志：日本臨床心理士会代議員

武山雅志：日本心理臨床学会代議員

武山雅志：日本心理臨床学会査読委員

武山雅志：災害と企業ボランティアセミナー研修会・講師、石川県庁1102会議室、2016.6.20

武山雅志：コミュニケーション講座・講師、かほく市七塚健康福祉センター、2016.7.13

武山雅志：ピアサポート研修会・講師、石川県リハビリテーションセンター、2016.8.3

武山雅志：いしかわ長寿大学・講師、石川県立生涯学習センター能登分室・七尾サンライフプラザ、2016.8.12,17

武山雅志：輪島市推進員総合育成講座・講師、輪島市門前保健センター、2016.8.23

武山雅志：能登半島宿泊体験研修・講師、石川県輪島市門前町および鳳至郡穴水町、2016.9.20,21

武山雅志：傾聴ボランティアフォローアップ講座・講師、白山市福祉ふれあいセンター、2016.11.21

武山雅志：出張オープンキャンパス模擬授業・講師、富山県立上市高等学校、2016.12.14

武山雅志：出張オープンキャンパス模擬授業・講師、富山県立高岡南高等学校、2017.1.31

武山雅志, 垣花涉, 長谷川昇, 川島和代, 塚田久恵, 中田弘子, 金子紀子, 渡辺達也, 梶谷有美子：
イオンモールウォーキング事業 健康チェック、かほくイオンモール、かほく市ほのぼの健康館、2016.10～2017.2

武山雅志, 曾根志穂, 金谷雅代, 林静子：災害につよい街づくりフォーラム、石川県立看護大学、2017.2

谷本千恵, 大江真吾：質的研究への参加・指導、石川県立高松病院、2015.12～2016.12

谷本千恵, 川村みどり, 大江真吾, 清水暢子：看護研究指導、石川県立高松病院、2016.7.26

谷本千恵：かほく市自立支援協議会委員(会長)，かほく市役所，2016.4～2017.3

谷本千恵：宝達志水町介護認定審査委員，宝達志水町役場，2016.4～2017.3

谷本千恵，川村みどり，大江真吾，清水暢子：シティカレッジ互換事業 前期開講「メンタルヘルスと看護」，しいのき迎賓館，2016.5～6

谷本千恵：看護実践学会2016年度研修会 研究スキルアップ 学会抄録の書き方スマートに執筆し採択率アップー，金沢大学医薬保健学域保健学類1号館1220講義室，2016.6.25

田淵知世：日本生理人類学会第74回大会実行委員

田淵知世：金沢マラソン2016 ボランティア協力団体（学生23名参加），石川県西部緑地公園陸上競技場，2016.10.23

田村幸恵：JICA日系研修 講師，石川県立看護大学，2016.8

田村幸恵：看護研究指導，JCHO金沢病院，2016.7.6，8.25，11.17，2017.2.2

塚田久恵：日本公衆衛生看護学会査読委員

塚田久恵：北陸公衆衛生学会査読委員

塚田久恵：かほく市健康づくり推進協議会委員

塚田久恵：かほく市地域包括支援センター運営協議会委員

塚田久恵：小松市健康づくり推進協議会委員

塚田久恵：一般財団法人北陸産業活性化センター北陸サイエンスクラスター推進室北陸ライフケアシステム研究会委員

塚田久恵：介護予防サポーターフォローアップ講座 講師，七塚健康福祉センター，2016.7

塚田久恵：JICA日系研修 講師，石川県立看護大学，2016.8

塚田久恵：JICA青年研修地域保健医療実施管理コース 講師，石川県立看護大学，2016.12

塚田久恵：イオンモールウォーキング事業 モール・健康レッスン講師，かほくイオンモール，2017.1

塚田久恵，曾根志穂，金子紀子，石垣和子：高齢者と看護学生との交流事業実施者，石川県立看護大学，かほく市内住民宅，2016.5～11

塚田久恵，武山雅志，川島和代，山岸映子，林静子，金子紀子，千原裕香：かほく市子育て支援学生ボランティア事業実施者，かほく市こども総合センター，2016.4～2017.3

寺井梨恵子：第19回日本救急看護学会学術集会 企画・実行委員

中田弘子：第47回日本看護管理学会－看護管理－学術集会 抄録選委員

中田弘子：日本生理人類学会第74回大会運営実行委員

中田弘子：石川県立中央病院 平成28年度看護部 臨地実習指導者研修 講師

中田弘子：恵寿金沢病院 平成28年度看護部研修 講師

中田弘子：公立羽咋病院 平成28年度看護部研修 講師

中田弘子：志雄病院 平成28年度看護部 研修 講師

中田弘子：かほく市食育推進連絡会委員

中田弘子：かほく市都市計画マスタープラン見直し策定委員会委員

中田弘子，川島和代：平成28年度石川県立看護大学附属地域ケア総合センター事業 看護実践力向上セミナー 第1・2回ジェネラリストのための事例検討 講師，石川県立看護大学附属地域ケア総合センター，2016.7.11

中田弘子，川島和代，小林宏光：平成28年度石川県立看護大学附属地域ケア総合センター事業

第1・2回 ケアのデザイン 手のケアを見直す 講師, 石川県立看護大学, 2016. 8, 9

中道淳子: 看護実践学会 査読委員

中道淳子: 日本認知症予防学会 評議員

中道淳子: 石川県介護支援専門員実務研修企画委員会 委員

中道淳子: 石川県立宝達高校 ふるさとに学ぶクリエイティブ人材育成事業 講師

中道淳子: 津幡町介護予防メイト養成講座 講師

中道淳子: 内灘町認知症予防教室 講師

中道淳子: 内灘町高齢者見守り運動 講師

中道淳子: 第19回日本救急看護学会 企画実行委員

中道淳子, 磯光江, 北山礼子, 渡辺達也, 川島和代: 高齢者事例検討会, 石川県立看護大学, 2016. 5 ~ 2017. 3

西村真実子: 医道審議会保健師助産師看護師分科会 保健師助産師看護師国家試験出題基準改訂部会 小児看護幹事委員

西村真実子: 日本小児保健学会 代議員

西村真実子: 石川県小児保健協会 役員

西村真実子: 日本小児看護学会誌 査読委員

西村真実子: 看護実践学会 理事

西村真実子: 石川県要保護児童対策協議会専門家チーム 委員

西村真実子: 石川県奨学生選考審査会 委員

西村真実子: 親子交流授業プログラム検討委員(公益財団法人いしかわ子育て支援財団)

西村真実子: かほく市子ども・子育て会議 委員・会長

西村真実子: 北陸小児糖尿病サマーキャンプ運営委員会 委員

西村真実子: 老人保健施設「なでしこの丘」まちの保健室事業実行委員会 委員

西村真実子: NPO法人子どもの虐待防止ネットワーク石川 理事(副代表)

西村真実子: 石川県女性教員教育研究会 第1回研修会「子育て支援について」講師, 石川県地場産業振興センター, 2016. 5. 14

西村真実子: 平成28年公開講座「学都石川の才知」「母子関係の難しさから考える子育て支援」講師, しいのき迎賓館, 2016. 7. 30

西村真実子: 平成28年度訪問看護研修「子どもの成長発達・子育てにかかわる看護「疾病や障がいを持つ小児の家族への支援」講師, 石川県看護研修センター, 2016. 8. 2, 6

西村真実子: 平成28年度児童福祉司養成研修「児童虐待援助論」講師, 石川県庁行政庁舎, 2016. 8. 9

西村真実子: 石川県助産師会研修会「子育てルームめばえの効果」講師, 金沢市教育プラザ富樫, 2016. 9. 17

西村真実子, 米田昌代: 「Nobody's Perfect完璧な親なんかいない(NP)」親支援プログラム(全6回)のファシリテーター, かほく市子ども子育てセンター「おひさま」, 2017. 2 ~ 3

西村真実子, 米田昌代, 金谷雅代, 曾山小織, 千原裕香: 子育てどろっぷ・イン・さろんの開催(どろっぷ・いん・るーむ&親育ち子育てを考える会、全5回), 北陸スウェーデンハウス(金沢市), 2016. 6 ~ 9

西村真実子, 金谷雅代, 千原裕香, 坂本洋子: 子育て支援・子どもの虐待の勉強会(事例検討等)

(全5回)の開催, 石川県立看護大学, 2016. 8 ~ 12

西村真実子: 第9回親支援プログラム “Nobody’s Perfect” 完璧な親なんていないフォーラムin
いしかわ(実行委員長, シンポジウム座長), 金沢歌劇座, 2016. 7. 2~3

西村真実子: 「がんになっても自分らしく生きる ~がん体験者と専門看護師からのメッセージ
~」第1部専門看護師による講演 座長, ホテル金沢, 2017. 3. 11

子吉知恵美: 高校訪問, 石川県立看護大学, 2016. 10. 17

長谷川昇: 石川県食品技術者ネットワーク 幹事

長谷川昇: Journal of Ethnopharmacology 査読担当

長谷川昇: 科学研究費委員会専門委員

長谷川昇: 健康応援倶楽部, かほく市, 2016. 4 ~ 2017. 3

長谷川昇: 病態運動生理学, 愛知医療学院短期大学 (愛知県清須市), 2016. 7

濱耕子: 日本母性衛生学会 愛媛県代議員

濱耕子: 日本母性衛生学会 機関誌「母性衛生」査読者

濱耕子: 第57回日本母性衛生学会総会・学術集会 抄録査読委員

濱耕子: 第57回日本母性衛生学会総会・学術集会 座長

林一美: 日本災害看護学会査読委員

林一美: 日本災害看護評議委員

林一美: 津幡町介護認定審査会委員

林一美: かほく市地域密着型サービス運営協議会委員長

林一美: 高松訪問看護ステーション運営委員

林一美: 石川県国民健康保険団体連合会介護サービス苦情処理委員会委員

林一美: 石川県防災会議震災対策専門委員

林一美: 平成28年介護職員等による喀痰吸引等の実施のための研修, 石川県立看護大学,
2016. 7. 9, 10. 22

林一美: 出張オープンキャンパス, 富山県立呉羽高等学校, 2016. 11. 7

林一美: 石川県保健助産師看護師実習指導者講習会 (特定分野), 石川県立看護大学,
2016. 8. 17, 9. 14, 9. 15, 9. 16

林一美: 訪問看護の現場に活かすフィジカルアセスメント, 石川県立看護大学, 2016. 6. 11

林静子: 第74回日本生理人類学会 実行委員長

林静子: 看護研究指導, 独立行政法人国立病院機構 金沢医療センター, 2016. 7. 10

林静子: 認定看護師教育課程感染管理 医療安全管理:医療安全教育 講義, 石川県立看護大学,
2016. 8. 30

牧野智恵: 日本がん看護学会誌投稿論文査読委員

牧野智恵: 第31回日本がん看護学会学術集会査読委員

牧野智恵: 日本がん看護学会代議員

牧野智恵: 日本看護科学学会代議員

牧野智恵: かほく市南部交流ゾーンにぎわい創出エリア整備検討委員会委員

牧野智恵: 第23回石川緩和医療研究会世話人

牧野智恵: 第19回日本救急看護学会学術集会企画・実行委員

牧野智恵: 第36回公益社団法人日本看護科学学会総会議事録署名人

牧野智恵：研修名「考えよう！臨床現場の倫理」講演
牧野智恵：「がん患者の心のケア」講演
牧野智恵：福井生と死を考える会 副会長
牧野智恵：日本ロゴセラピー協会 特別会員
牧野智恵：研修名「考えよう！臨床現場の倫理」講演，石川県地場産業振興センター，
2016.10.1
牧野智恵：「がん患者の心のケア」講演，金沢大学付属病院，2016.10.2
牧野智恵：「複雑な事例を専門看護師等と共に検討しよう」企画・座長，石川県立看護大学，
2016.9
牧野智恵：「がん看護事例検討会」企画，石川県立看護大学，2016.5～7,10～12,2017.2～3
牧野智恵：「お母さんと子どものためのアートセラピー体験」企画・実施，白山市 ミントレイノ，
2016.8
牧野智恵：「多様な価値観に基づく意思決定の支援」第1部・2部の座長，ホテル金沢，2016.12
牧野智恵：「がんになっても自分らしく生きる ～がん体験者と専門看護師からのメッセージ～」
企画・座長，ホテル金沢，2017.3.11
松本智里：看護研究指導・講評，公立能登総合病院，2016.6.24，2017.1.21
丸岡直子：石川県看護協会認定看護管理者教育制度運営委員
丸岡直子：日本看護学教育学会 専任査読委員，査読担当
丸岡直子：日本看護研究学会 評議員・査読委員
丸岡直子：日本老年看護学会 代議員・査読委員
丸岡直子：看護実践学会 専任査読委員・査読担当
丸岡直子：石川県認知症医療体制推進委員会 委員
丸岡直子：石川県立中央病院地域医療支援委員会 委員
丸岡直子：日本看護学会（看護管理）準備委員長・抄録選考委員長
丸岡直子：かほく市創生総合戦略推進計画策定に係る外部評価委員会 委員長
丸岡直子：かほく市空家等対策審議会 会長
丸岡直子：大学基準協会 大学評価委員会大学評価分科会 委員
丸岡直子：日本看護学校協議会共済会 代議員
丸岡直子：金沢医科大学大学院看護学研究科（看護管理特論），金沢医科大学，2016.6.7，14，21
丸岡直子：医療域関看護師の在宅支援スキルアップ研修講師（入院する患者の在宅療養移行支
援を考える），石川県看護研修センター，2016.7.30
丸岡直子：石川県看護協会認定看護管理者制度ファーストレベル教育課程講師（看護サービス
提供論―問題解決思考），石川県看護研修センター，2016.11.22
丸岡直子：石川県看護協会認定看護管理者制度セカンドレベル教育課程講師（クオリティマネ
ジメント），石川県看護研修センター，2016.11.3
丸岡直子：金沢大学大学院医薬保健学講師（看護管理特論），金沢大学つるまキャンパス，
2016.12.23
丸岡直子：管理者経営研修講師（地域包括ケア時代における看護管理者の役割），石川県立看護
大学，2016.9.30
丸岡直子：感染管理認定看護師教育課程講師（リーダーシップ），石川県立看護大学，2016.8.2，

- 丸岡直子：認定看護管理者教育課程サードレベル講師（看護経営者論），石川県立看護大学，2016.12.15
- 三輪早苗：JICA日系研修 講師，石川県立看護大学，2016.8
- 村井嘉子：第19回日本救急看護学会学術集会会長
- 村井嘉子：日本救急看護学会評議委員
- 村井嘉子：日本救急看護学会査読員
- 村井嘉子：日本クリティカル看護学会査読員
- 村井嘉子：日本循環器看護学会査読員
- 村井嘉子：看護研究指導・講評，能美市立病院，2016.7.11，12.3，2017.3.11
- 山岸映子：第20回母乳育児支援を学ぶ北陸教室 実行委員長，金沢大学医学部十全講堂，2016.5.22
- 山岸映子：思春期講座講師，七尾市東部中学校，2016.7.2
- 山岸映子：性教育講座講師，石川県立翠星高等学校，2016.1.17
- 山崎智可：かほく市介護認定審査委員
- 山崎智可：JICA日系研修事業 講師，石川県立看護大学，2016.8.5.
- 米田昌代：公益社団法人石川県看護協会主催 平成27年度石川県実習指導者講習会講師 母性看護学 2016.6.3,6
- 米田昌代：石川県看護協会 助産師職能委員
- 米田昌代：日本看護研究学会 査読委員
- 米田昌代，曾山小織：ペリネイタル・グリーンケア検討会，7月 石川県立看護大学 2月 石川県立中央病院，2016.7.9，2017.2.18
- 米田昌代：あかちゃんをお空へみ送った方の自助グループに対するサポート活動，石川県立看護大学，通年
- 米田昌代：第9回親支援プログラム“Nobody’s Perfect”完璧な親なんていないフォーラムin いしかわ（実行委員、シンポジスト），金沢歌劇座，2016.7.2.3
- 米田昌代：SIDS家族の会 医学アドバイザー
- 米田昌代：NPO法人ワークライフバランス北陸 副理事長

6.6 その他（受賞等）

- 浅見洋：受賞，石川県立看護大学 ベストティーチャー賞，2016.5
- 浅見洋：教材DVD，COC+事業関連における『地域創生概論』いしかわで学ぶ未来可能性「第2章 石川の自然・文化・歴史」，2016.6
- 浅見洋：新聞掲載，「寸心忌によせて」北国新聞夕刊『舞台』，2016.6
- 垣花涉：新聞掲載，北国新聞 「健康づくりでポイント獲得」，2016.5
- 垣花涉：テレビ出演，NHK総合「おはよう日本」，「みんなで歩いて健康に！」，2016.10
- 垣花涉：新聞掲載，「少しずつチェンジを」北国新聞朝刊，2016.11
- 垣花涉：新聞掲載，「今すぐできる健康法—スモールチェンジ活動のススメ」北国新聞朝刊，2016.12
- 小林宏光：受賞，日本生理人類学会論文大賞，2016.6

Shimizu N, Umemura T, Matunaga M, Hirai T: 受賞, International Collaboration in Community Health Nursing Research (ICCHNR) AWARD THE LISBETH HOCKEY PRIZE FOR BEST POSTER, 2016.9

6.7 研究助成金

6.7.1 科学研究費助成事業（日本学術振興会）

6.7.1.1 科学研究費補助金

1. 本学教員が研究代表者のもの

大木秀一: 双生児家系世代間データによるライフコース疫学モデルでの不妊治療の長期影響の検証, H27～H30, 科学研究費補助金基盤研究(B)

林静子: 看護師の視覚に基づく観察時のヒューマンエラーにつながる見落とし現象の分析, H27～H28, 科学研究費補助金研究活動スタート支援

2. 他の研究機関に本学教員が分担者として参加しているもの

鈴木みずえ, 丸岡直子, 寺井梨恵子, 他9名: 認知症高齢者の転倒予防看護質指標による看護介入プログラムと実践継続システムの開発, H26～H29, 科学研究費補助金基盤研究(B)

6.7.1.2 学術研究助成基金助成金

1. 本学教員が研究代表者のもの

浅見洋, 志村恵, 谷山洋三, 彦聖美: ドイツ語圏の医療・福祉におけるゼーゾルゲの展開とその現在, H26～H28, 学術研究助成基金助成金挑戦的萌芽研究

今井美和 (赤祖父美和), 吉田和枝, 塚田久恵: 女子高校生の子宮頸がん予防行動推進プロジェクト, H25～H28, 学術研究助成基金助成金基盤研究(C)

岩城直子: 放射線療法中の乳がん患者へのPILテストを手がかりとした看護介入の活用可能性, H28～H31, 学術研究助成基金助成金基盤研究(C)

大木秀一: 多胎児に対する低出生体重児の概念の妥当性に関する実証研究, H26～H28, 学術研究助成基金助成金挑戦的萌芽研究

金子紀子: ソーシャルキャピタルの地域特性を踏まえた子育て支援の検討, H26～H28, 学術研究助成基金助成金若手研究(B)

川島和代, 林一美, *橋本智江, 木森佳子, 中田弘子: 看護と介護のより良い連携に向けた教育デザイン～感染防御策に焦点を当てて～, H25～28, 学術研究助成基金助成金基盤研究(C)

木森佳子, 紺家千津子, 松本勝: 高齢者の静脈穿刺後皮下出血における皮膚バリア機能の評価, H27～H28, 学術研究助成基金助成金挑戦的萌芽研究

桜井志保美, 河野由美子, 前川厚子, 平井真理: 認知症患者の家族介護者に対する睡眠支援を

目的としたレスパイトケアの効果検証, H26～H28, 学術研究助成基金助成金基盤研究(C)

清水暢子, 平井一芳, 梅村朋弘, 谷本千恵, 安倍博: 軽度認知症者への前頭葉機能活性化効果の検討～マルチタスクトレーニングによる効果検討～, H26～H28, 学術研究助成基金助成金基盤研究(C)

多久和典子: 慢性炎症と臓器線維化に関わるスフィンゴ脂質シグナリングの解明と新規治療戦略, H26～H28, 学術研究助成基金助成金基盤研究(C)

武山雅志, 岩脇陽子, 北岡和代, 丸岡直子, 塩谷亨: 看護学生のコミュニケーション・スキルの特徴と変化, H26～H28, 学術研究助成基金助成金挑戦的萌芽研究

寺井梨恵子: 新人看護師の視覚情報に関する転倒リスクアセスメント教育プログラムの開発, H27～H30, 学術研究助成基金助成金若手研究(B)

中道淳子: ストレス軽減および認知機能の維持向上を意図した笑いヨガプログラムの開発, H27～H29, 学術研究助成基金助成金挑戦的萌芽研究

西村真実子, 金谷雅代, 千原裕香, 米田昌代, 曾山小織: 子どもの虐待予防の段階的支援システムの研究:虐待リスクをもつ乳児の母が集う場の評価, H27～H29, 科学研究費補助金基盤研究(C)

長谷川昇, 高山成子, 他3名: 高齢者が自立した生活を維持するための非侵襲的評価指標の検討, H27～H29, 学術研究助成基金助成金基盤研究(C)

濱耕子, 杉山隆, 松原圭一, 濱田雄行: 産前産後の骨盤矯正機能付き筋力サポートアンダーウェアの開発評価, H28～H29, 学術研究助成基金助成金挑戦的萌芽研究

林一美, 山崎智可: 地域包括ケアシステムにおける診療所看護のプライマリケアに関する質指標の開発, H28～30, 学術研究助成基金助成金挑戦的萌芽研究

牧野智恵, 長谷川昇: 外来化学療法における患者への曝露防止に関する研究, H28～H30, 学術研究助成基金助成金基盤研究(C)

松本智里: 女性人工股関節全置換術患者の歩容の自己評価と心理社会的側面の相互の影響, H27～H29, 学術研究助成基金助成金若手研究(B)

丸岡直子, 林一美, 武山雅志, 石川倫子, 林静子, 田村幸恵, 田淵知世, 吉田千文, 樋口キエ子: 外来-病棟一元化による看護師の患者・家族包括的在宅移行支援力育成プログラムの開発, H26～29, 学術研究助成基金助成金基盤研究(C)

米田昌代: 周産期の死を経験した母親・家族を社会全体で支えるシステムの実現可能性の検討, H26～H28, 学術研究助成基金助成金挑戦的萌芽研究

2. 他の研究機関に本学教員が分担者として参加しているもの

野口美和子, 大湾明美, 石垣和子, 春山早苗, 他2名: 島しょ看護学の学習指導書作成に関する研究, H27～H29, 学術研究助成基金助成金基盤研究(C)

伊藤隆子, 吉田千文, 石垣和子, 辻村真由子, 他3名: 在宅療養の場における倫理的ビリーフの解明とケアマネジメント能力育成プログラム開発, H28～H30, 学術研究助成基金助成金基盤研究(C)

辻村真由子, 石垣和子: 訪問看護師による一人暮らし高齢者の家族支援指針の開発, H28～H30, 学術研究助成基金助成金基盤研究(C)

彦聖美, 太木秀一: 高齢期の妻や親を介護する男性介護者に対する地域特性に基づく支援のあ

り方, H25～H28, 学術研究助成基金助成金基盤研究(C)
彦聖美, 大木秀一: 男性介護者のソーシャル・キャピタルの特徴を踏まえた健康支援のあり方に関する研究, H28～H30, 学術研究助成基金助成金基盤研究(C)
永谷幸子, 小林宏光, 林久恵: 足関節運動を用いた患者のモビリティを拡大するための看護介入, H27～H29, 学術研究助成基金助成金挑戦的萌芽研究
望月美也子, 長谷川昇, 吉村篤: 脂溶性ビタミンと運動に着目したアンドロゲン低下に伴う肥満とうつ状態の改善, H28～H30, 学術研究助成基金助成金挑戦的萌芽研究

6.7.2 学内研究助成費

本学専任教員が行う「学術研究」(研究者の自由な発想に基づく研究)を発展させることを目的とする。

石川倫子: 看護技術能力向上のための看護基礎教育と新人看護職員研修の一体化及び標準化に向けての研究—各医療施設において新人看護職員研修で行っている看護技術内容と課題の明確化—

市丸徹, 森啓至: 重点課題「少子高齢化に伴う課題」生殖機能の中枢制御機構の解明に関する研究

大木秀一, 彦聖美: 重点課題「少子高齢化に伴う課題」多胎育児当事者のニーズと科学的根拠に基づく多胎児用母子健康手帳の開発

金谷雅代, 西村真実子, 千原裕香, 本部由梨, 坂本洋子, 伊達岡五月: 重点課題「少子高齢化に伴う問題」在宅育児家庭『通院保育』利用の効果の検討

清水暢子, 平井一芳, 梅村朋弘, 松永昌宏: 重点課題「少子高齢化に伴う問題」軽度認知症患者への前頭葉機能活性効果の検討～マルチタスクトレーニングによる効果～

曾根志穂, 武山雅志, 金谷雅代: 地域住民が取り組む防災・減災対策の実態に関する研究

曾山小織, 米田昌代, 濱耕子: 重点課題「少子高齢化に伴う問題」中年期女性の子どもの有無によるライフプランへの影響に関する研究

多久和典子, 岡本安雄: 抗がん剤による臓器障害に時期特異的に関与する細胞種とその役割の解明

谷本千恵: イタリアの地域精神保健活動における看護教育と実践に関する実態調査

田淵知世, 大木秀一: 外国人住民の非集住地域において日本人男性と結婚した中国人女性の子育てにおける当事者間のつながりと社会的サポートの関係

塚田久恵, 石垣和子: 事業所における夜間交代制勤務従事者ヘルスリテラシーの特徴と保健行動との関連

子吉知恵美, 田村須賀子, 山崎洋子: 重点課題「少子高齢化に伴う問題」保護者の受容状況に応じた発達障害児の早期支援・就学時支援・虐待予防に関する研究

長谷川昇, 望月美也子, 鳥居昭久, 加藤真弓: 食教育と運動指導を併用した糖尿病境界域者の重点化予防法の提案—尿中カテキン代謝産物の簡易測定法を指標として—

牧野智恵, 長谷川昇, *藪下佳子, 我妻孝則, 村上真由美, 高地弥里, 浦嶋ひとみ, 山瀬勝巳, 内村恵理子, 久保博子, 高野智早: 重点課題「がん看護に関する課題」化学療法を受ける乳がん患者・家族への曝露防止支援の検討～曝露防止対策実施前後の排泄物調査から～

6.7.3 その他助成金等

1. 本学教員が研究代表者のもの

垣花 渉： 地域と協働した健康料理の創作及び情報発信，H28，平成28年度大学生の健全な食生活への実践活動助成事業

西村 真実子，千原 裕香： 親子交流授業のプログラム改善：気になる生徒に対する効果的アプローチの検討，H28，公益財団法人いしかわ結婚・子育て支援財団受託研究

子吉 知恵美： 子育て期にある在宅がん終末期療養者支援の狭間を埋めるために必要なインフォーマルな支援に関する研究，H28.3～H29.3，公益社団法人 在宅医療助成 勇美記念財団

2. 他の研究機関に本学教員が分担者として参加しているもの

該当なし